

募集要項

募集人数	10名
応募資格	<p>大学を卒業し、学士の学位を有していること。ただし、本センターにおいて大学を卒業した者と同等以上の学力が認められた場合も履修可能とする。また、下記、①～④のいずれかを満たした上で、英語によるコミュニケーション能力・プレゼンテーション能力を有する者。</p> <p>① 大学その他高等教育機関において教育研究マネジメントに携わっている教職員</p> <p>② 高等教育政策・行政にかかわる中央政府・地方政府及び関係機関の職員</p> <p>③ 大学団体の職員</p> <p>④ その他、高等教育に関心があり、将来、教育研究マネジメントに携わる見込みの者</p>
応募期間	<p>平成29年5月1日(月)～5月26日(金)</p> <p>※郵送の場合には、受付期限までに到着したものに限り受け付けます。</p>
応募書類	<p>(1) 申請書</p> <p>(2) 所属部署の長等の推薦書</p> <p>(3) 所属機関において取り組む改革課題(A4×2ページ、図表を含む2,000字程度)</p> <p>※内容には、「当該課題において、あなた自身がどのようなリーダーシップを発揮できるか」という観点を必ず含んで記述してください。</p> <p>(4) 上記(3)の改革課題の英文要約(400ワード程度)</p> <p>書類は、東北大学 高度教養教育・学生支援機構 大学教育支援センターウェブサイトよりダウンロードできます。(平成29年4月上旬掲載予定)</p> <p>http://www.ihe.tohoku.ac.jp/CPD/lad</p>
書類提出先	<p>〒980-8576 仙台市青葉区川内41 東北大学 高度教養教育・学生支援機構 大学教育支援センター 宛</p> <p>「LAD応募書類在中」と朱書きし、簡易書留にて郵送願います。</p>
選考方法および審査結果通知	<p>選考方法：書類審査 審査結果通知：平成29年6月28日頃</p>
修了要件と履修証明書の授与	<p>2年間で本プログラムの必修セミナー・ワークショップを全て受講の上、所定の課題を提出し、計140時間以上の学習を行うことが修了の要件です。修了要件を全て満たした場合に、学校教育法第105条に基づいた履修証明書が授与されます。</p>
受講料	120,000円

ACCESS MAP



教育関係共同利用拠点「知識基盤社会を担う専門教育指導力育成拠点
—大学教員のキャリア成長を支える日本版 SoTL の開発—

履修証明プログラム 2017-2018 アカデミック・リーダー育成プログラム(LAD) Leadership for Academic Development Certificate Program

LAD



「クィーンズ大学での調査活動」



「東北大学でのプレゼンテーション・コンサルテーション」



お問い合わせ先

東北大学
高度教養教育・学生支援機構
大学教育支援センター (CPD)

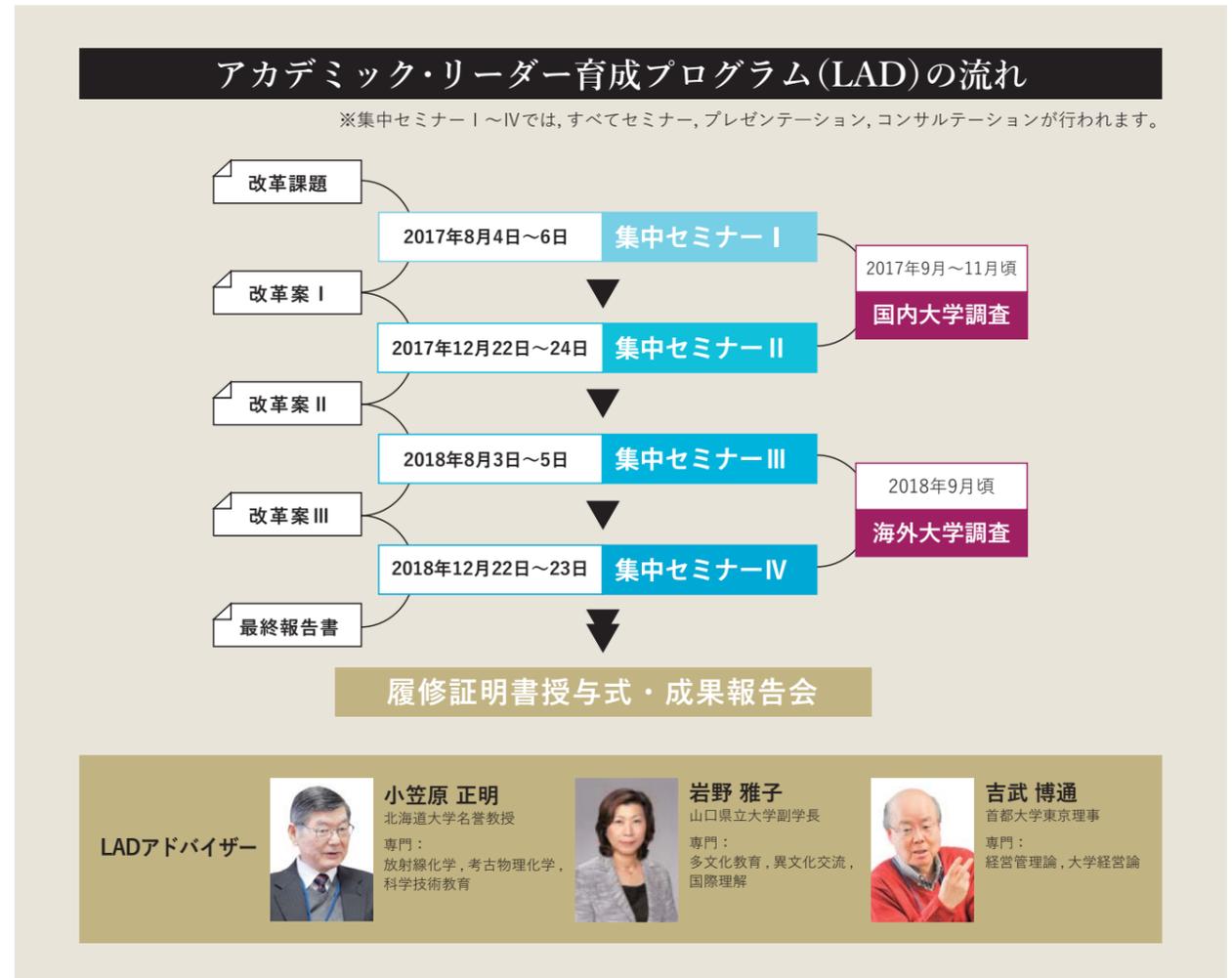
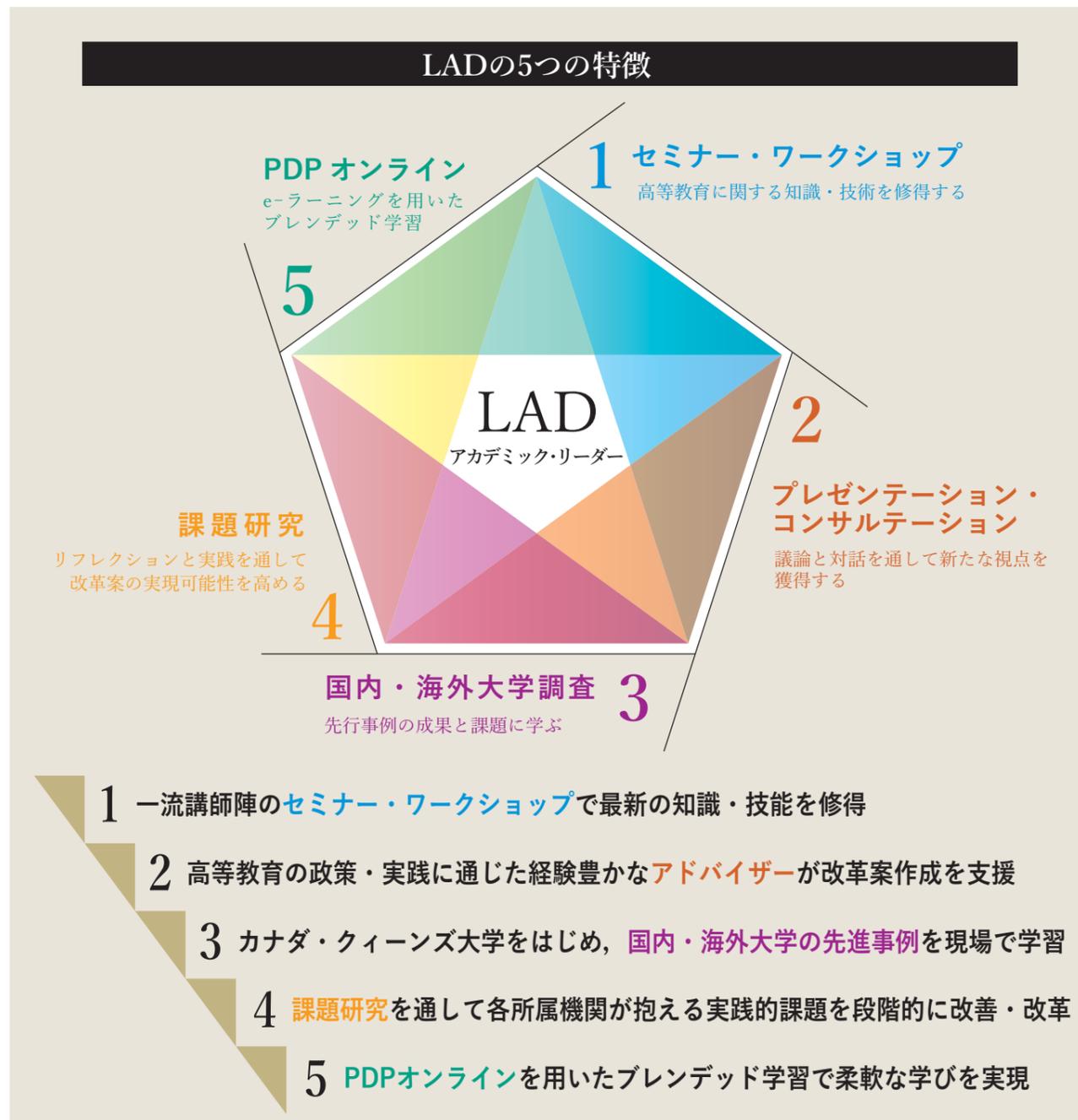
〒980-8576 仙台市青葉区川内 41
川内北キャンパス
川北合同研究棟 2 階 201
Tel : 022-795-4472 (DI)
E-mail : lad-program@ihe.tohoku.ac.jp

Towards a new stage
ここから、次なるステージへ。

東北大学 高度教養教育・学生支援機構
Institute for Excellence in Higher Education, TOHOKU UNIVERSITY

大学改革を担う次世代アカデミック・リーダーに

アカデミック・リーダー育成プログラム (LAD) は、各大学で教育・研究・学生支援・国際化等の企画や改革に携わる副学長・部局長・学科長・アドミニストレーターといったアカデミック・リーダーを育成することを目的としたプログラムです。各所属機関の改革案を作成し実行していけるアカデミック・リーダーを育成するため、国内一流の講師・アドバイザー陣の下、高等教育に関する高度で体系的な知識・技能を獲得するとともに、国内外の大学の先進的事例を通して実践的に学びます。なお、本プログラム修了時には、学校教育法 105 条に基づく「履修証明書 (Certificate)」が授与されます。



LADでは、東北大学高度教養教育・学生支援機構の提供するプログラムに従って、高等教育に関する各種の知識を学び、これらの知識を統合しながら、受講者各所属機関の改革課題を考察し、議論し、実践可能な改革案へ高めていきます。下記の5つの領域の下、2年間にわたって計140時間以上の活動を行います。

領域	概要	受講時間数
高等教育基礎	高等教育論、専門性開発論、学生発達論、教育設計論など高等教育について知っておくべき必須の知識と技能を学ぶ。	14 時間
教育研究マネジメント	教育学習マネジメント論、インスティテューショナル・リサーチ、研究マネジメント論など教育研究のマネジメントや企画立案について必要な知識や技能を学ぶ。	14 時間
高等教育リーダーシップ	高等教育政策論、大学ガバナンス論、組織開発論など高等教育の組織を担う各層のリーダーに必要なビジョン策定や意思決定について必要な知識や技能を学ぶ。	16 時間
フィールドワーク	国内大学 (複数大学から1大学選択)、海外大学 (カナダ・キーンズ大学) における調査活動を行う。	44 時間
アクションラーニング	受講者が設定した所属機関の改革課題について、各種セミナーやフィールドワークにおける学びやLADアドバイザーや他受講者との対話・討論を通して、実現可能性の高い「改革案」の作成・省察・実践を行う。1年に2回 (2年間で4回)、2～3日程度の集中ワークショップを行う。	50 時間